

魚の城下町

みんなが主役のまち

祝平成29年

29年 羅臼町成人式



新たな門出を 迎え

～平成29年 羅臼町成人式～

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、おだやかな中にも希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より町行政の推進に對しまして、深いご理解とご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年4月より「羅臼町第7期総合計画」をスタートさせ、将来に向かっているうちに、第5期、第6期総合計画で掲げてきた将来テーマを引き継ぎながらも、知床らうすの創生、発展に向けて、これまで以上に「知床らうす」の地理的特性や自然環境、海の恵みなど魅力的な優位性や可能性を最大限に活かしながら、町民、行政が力を合わせ、一人ひとりが生きがいを持って活動し、様々な世代の人たちが互いに支え合い、健康で豊かに暮らせるまちづくりを進めてまいります。「羅臼町第7期総合計画」実現のためには、町全体で知恵を出し、取り組まなければなりませんので、町民皆様のご協力をお願い致します。

さて、昨年を振り返りますと8月から9月にかけて記録的な大雨により大規模な土砂災害の発生が重なりました。8月24日に発生した海岸町地区の土砂災害では空き家と番屋が押しつぶされ、町民1名が大けがを負い、海岸町以北の方々が孤立した状態になりました。この災害では、岬町コミュニティセンターでの炊き出し、工事業者や地域住民からの車両の提供、漁協の指導船や観光船協議会の定期便の運航、宿泊施設での関係職員の受け入れなど、様々な場面でご協力を頂きました町民の皆様には深く感謝申し上げます。その後、9月9日礼文町ソスケ地区で発生した土砂崩れでは道路パトロールのために現場で監視を行っていた従業員が土砂崩れに巻き込まれて犠牲となりました。亡くなられた従業員のご冥福をお祈りし、ご家族の皆様にお悔みを申し上げます。また、同じ日の夕方から翌10日未明にかけて北浜や瀬石でも土砂崩れや大きな岩が崩落し、昆布浜では海岸町の大規模土砂災害をしのぐ規模の土砂崩れが発生するなどの災害が発生しました。定置漁業の網入れ作業や昆布製品づくり作業などの最盛期であったため、多数の漁業者が孤立状態になりました。いずれの災害につきましても町民の皆様には大変ご心配をおかけしたことを申し訳なく感じているところであり、国、北海道、漁協などと連携を図りながら、1日も早い完全復旧に向けて取り組んでいるところであり、鮮基幹産業であります水産業はイカ、ホッケの水揚げ高が大幅に減少したことから鮮

謹賀新年

魚の年間水揚高が昨年を下回る結果となりました。このように漁業を取り巻く環境は、一段と厳しさを増していますが、水産業を中軸とする羅臼町経済にとってその基盤の強化と安定維持が重要な課題となっており、町としても漁協、商工会、観光協会等と連携し、雇用対策や新たな事業を講じていかなければならないと考えております。

このような状況を踏まえ、昨年4月に「知床らうすブランド認証制度」を導入いたしました。町内に拠点を置く企業や団体、個人の商品を対象に試食審査会を行い、サケ節やイクラ、タラコ、羅臼昆布などこれまで37品を認証しております。「羅臼のふつうは、日本のごちそう」をブランドのキャッチコピーに、海産物を中心に厳選された特産品や加工品の品々を全国にPRしているところでありますので、今年も町内企業とともに商談会や物販など、積極的に取り組んでまいります。

平成27年12月から開始したふるさと納税事業は、返礼品を羅臼の魚介類や水産加工品を中心に100品目以上の返礼品を用意しています。昨年未までに2億2千万円を超える申込みがあり、地場産品のPRを通じて、少しでも地域の活性化に繋がることを期待しております。

新設される「知床未来中学校」は、現羅臼中学校敷地内で昨年8月より工事を着工致しました。平成30年度の完成を予定しておりますので、現在、開校に向けた準備を進めているところであります。

診療所につきましては、今年で指定管理の契約期限を迎えますが、引き続き社会医療法人孝仁会で運営を担って頂けることになり、大変ありがたく思っております。これまでと同様に、住み慣れた地域で、適切な医療と介護サービスが受けられるようにするため、医療、保健、福祉、介護の連携のもと、施設運営者、町民皆様のご理解とご協力をいただき、一層安心して住み続けられる街づくりを目指してまいります。

平成29年が皆さまにとって輝かしい希望に満ちた年となりますように心から願いを込めまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十九年元旦

羅臼町長 湊屋 総

いまや、 がんは国民病!?



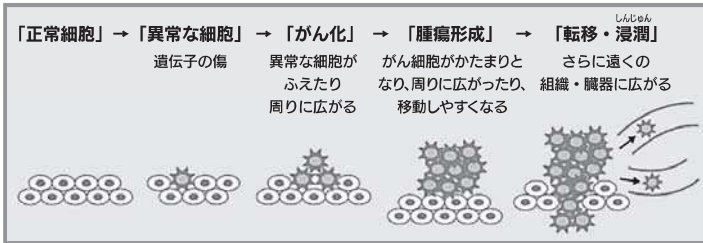
現在、日本人の2人に1人が一生のうちになんらかのがんにかかるといわれています。また、日本人の3人に1人はがんで亡くなっています。近年、日本では、がんにかかる人は増え続けています。

がんとはどのような病気でしょうか?

人間の体は、細胞からできています。

正常な細胞の遺伝子に傷がついてできる異常な細胞のかたまりの中で悪性のものを「がん」といいます。

健康な人の体でも、毎日、多数のがん細胞が発生していますが、免疫が働いてがん細胞を死滅させています。しかし、この免疫が年をとることなどで低下すると、発生したがん細胞を死滅させることが難しくなります。年齢を重ねることに、がんの発生が増えるのは、これが原因です。

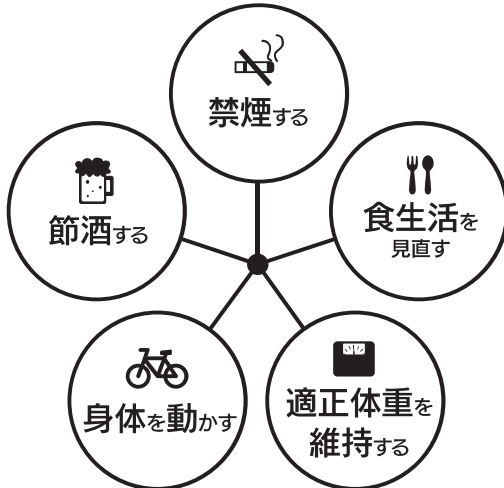


がんの主な要因

男性のがんの約50%、女性のがんの約30%は、喫煙や大量飲酒、不適切な食事、運動不足といった生活習慣や、細菌・ウイルスなどの感染が要因と考えられています。

まれに遺伝が関与するものや、原因がよくわかっていないがんもありますが、望ましい生活をおくることで、がんにかかる危険性を減らすことができます。

5つの健康習慣を実践することでがんになるリスクが低くなります



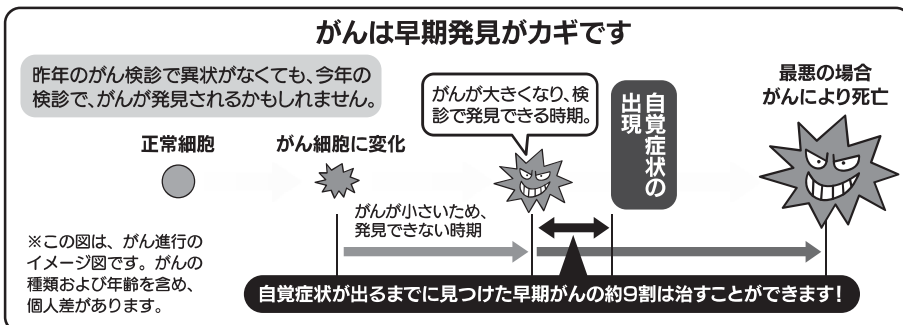
※国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ
科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究
http://epi.ncc.go.jp/can_prev/

がんの経過

発生した一個のがん細胞は、目立った症状がないまま増え続け、10年〜20年かけて、一般的にがん検診で発見できる1cm程度の大きさのかたまりになります。しかし、その後、2cm程度の大きさになるのはわずか1〜2年で、それ以降は進行がんとなり、症状が現れます。

がんが進行するこ
とで、今までどおり
の生活ができなくな
ったり、命を失う
こともありま。症
状がある場合には
速やかに医療機関
を受診することも、
症状がない場合も
国が勧めているが
ん検診を積極的に
受診し、早い段階
でがんを発見する
ことが重要です。

がんは早期発見がカギです



国が勧める科学的根拠に基づいた5つのがん検診って??

がん検診は、様々な種類や方法があります。国では、死亡率を減少させる効果を認めて勧めている5つのがん検診があります。平成28年度以降、胃がん・乳がん検診に変更があり、左記のとおりとなっています。

種類	検診方法	対象年齢	検診期間
胃がん検診	問診及び胃部X線検査(胃バリウム検査)または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※1	2年に1回 ※2
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年に1回
肺がん検診	胸部X線検査及び喀痰細胞診併用		
乳がん検診	問診及びマンモグラフィ検査		2年に1回
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	

※1 当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対して実施可
 ※2 当分の間、胃部X線検査については、年1回実施可



羅臼町で行っているがん検診の実態

羅臼町では、国が勧める5つのがん検診を総合健診や個人健診で実施しています。

町では、がん検診を受けやすくするために節目年齢の方にはがん検診費用の全額助成(無料クーポン券として)、また、節目年齢ではない方にも一部助成を行っています。平成27年度に羅臼町のがん検診を受けていただいた方の状況を一部ですが、お知らせします。

下の図を見ると、がん検診対象者のうち、検診を受診している人は1割ほどと少ないです。

検診を受けていない方の中にがんにかかっている方がいるかもしれません。

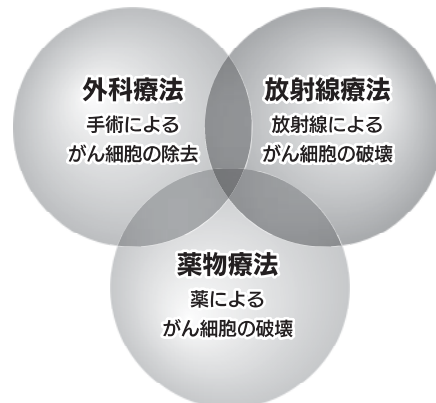
がんの種類により差はありますが、多くのがんは早期に見すれば、約9割が治ると言われています。



がんの治療法

がん治療には、3つの柱として手術療法(外科療法)、放射線療法、化学療法(抗がん剤など)があります。

がん治療の3本柱



がんの種類や進行度などをふまえて治療方法を選択、決定していきます。治療方法は、患者さん自身が医師から説明を十分に受けて理解し、納得した上で決定することが重要です。また治療方針は、医師によって異なることもあり、別の意見を聞きたいときには、セカンド・オピニオンという仕組みを利用することもできます。

がんは、早期発見し、適切な治療を受けることができれば、社会復帰が可能です。

自分自身のためにも、家族のためにも、がん検診を受けてみませんか?



暴風雪への備え

1月を迎え、寒さも一段と厳しくなっていますが、同時に、暴風雪への備えが必要となる季節です。

羅臼町でも、過去から暴風雪災害に見舞われており、平成27年1月31日から2月3日にかけての暴風雪により、観測史上最大の積雪を記録し、除雪困難地域の町民の安全確認のため自衛隊へ災害派遣の要請を行ったことが記憶に新しいところです。



平成27年2月1日午後7時00分頃
陸上自衛隊の活動の様子
派遣部隊：第27普通科連隊(釧路町)

悪天候が予想されるときは、最新の気象情報に注意！

暴風雪に限らず、天気予報を見聞きするときには、どうしてそのような予報となるのか、天気図の動きから危険を読み取る必要があります。

今回は、羅臼町ではどのようなときに特に強い暴風雪となるのか、過去の事例をもとに、被害が大きかった暴風雪時の天気図を確認します。

羅臼町で発生する暴風雪の特徴は？

羅臼町は、図①のとおり「西高東低」の気圧配置（西側に高気圧、東側に低気圧）で、オホーツク海や根室沖で低気圧が発達して北西方向から非常に強い風が吹くときに被害が大きくなる特徴があります。

2つの天気図を見比べると良く似た気圧配置です。等圧線と呼ばれる同じ気圧同士を結ぶ線の間隔が北海道付近で狭くなっています。風は等圧線の間隔が狭いほど強くなります。また、図①のように、低気圧は中心に向かって反時計まわりに風が流れます。

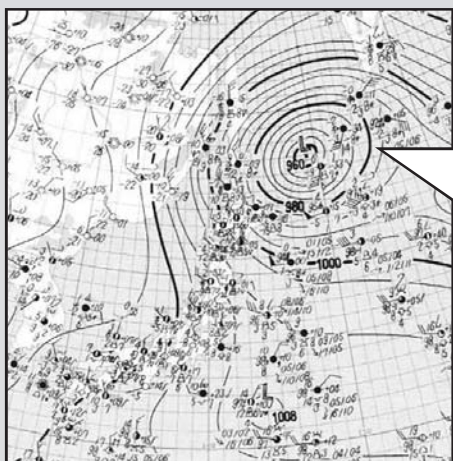


下の図②のように、低気圧が千島近海で常に発達し等圧線の間隔が狭く混み合っている場合、羅臼町では強い風が北西方向から吹くこととなります。

さらに羅臼町は知床連山の影響により、北西方向からの風は山頂付近の上空から吹き降ろす「山おろし」が発生し、突然恐怖を感じることがあります。

この天気図以外のパターンでも暴風雪にはなりますが、過去の事例で被害が大きい暴風雪災害の天気図の多くが図②の2つの天気図に類似します。そのため、低気圧がオホーツク海や千島近海で発達するような気圧配置が予想される場合には、猛吹雪の恐れがあるため、外出を控えるといった危険を回避する行動を選択する必要があります。

図②



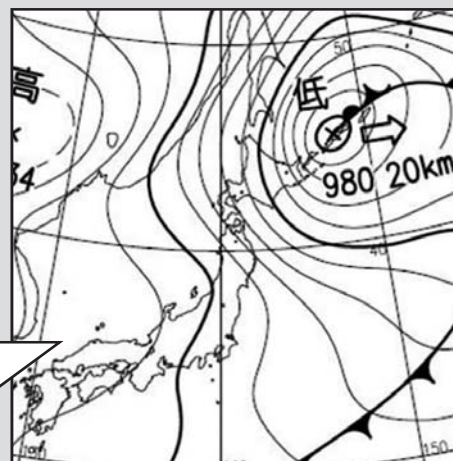
昭和55年3月10日9時の天気図

3日連続の暴風雪により、停電、電話不通、3日間陸の孤島となる。住宅半壊8戸、一部破損104戸、漁船流出等14隻。

巡視艇かわざり羅臼漁港にて最大瞬間風速60mを超過、風速計破損。

平成25年2月8日21時の天気図

国道335号通行止め。羅臼町峯浜町～標津町伊茶仁間で、車両19台が一時身動きが取れなくなる。



天気図：気象庁提供

暴風雪への被害防止対策

気象に関する注意報や警報は天候が悪化する数時間前に発表されることがあるため、発表時点で異変がなくてもこれから悪化する事を考え対応しましょう。また、暴風雪の悪天候が予想される場合は、不要不急な外出は控え、職場等でも早めの帰宅を促すなど、暴風雪から身を守るための対策を日頃から理解し、いざというときに備えて下さい。

■家の中で安全に過ごすために

◎停電

暴風雪によって停電が発生する可能性があります。あります。停電に備えて、次の「暴風雪時の家の常備品」を参考に準備しておきましょう。

暴風雪時の家の常備品

- ポータブルストーブ及び灯油
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 防寒具
- 食糧・飲料水

◎一酸化炭素中毒

FF式暖房機などを使用している場合は、一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。



◎陸の孤島

羅臼町は暴風雪により国道335号の通行止めによって交通網が寸断され、食品や日常生活品などの物流がストップする事が過去から幾度となく経験してきました。食糧や日頃から服用している薬など、万が一のために備えておきましょう。

■やむを得ず車で外出するとき 気をつけること

◎万が一に備えて、車内に常備品を備えて!!
車が立ち往生する可能性があるため、次の「車の中の常備品」を参考に、車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。また、万一に備えて車内に食糧や飲料水も用意しておくこと安心です。

車の中の常備品

- 携帯電話
- 防寒着・長靴・手袋
- スコップ
- けん引ロープ
- 十分な燃料
- 食糧・飲料水
- ブースターケーブル
- スノーヘルパー
- 毛布
- スノーブラシ

◎車の移動で無理をしない

運転していて、地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気のリcoveryを待ちましょう。

◎救助要請

大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生した時は、JAFなどのロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼してください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。

避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防(119番)や警察(110番)に連絡して、車の中で救助に備えてください。



ホワイトアウトの様子(役場前)

◎マフラーの状況は?

車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。



冬期間の防災対策強化に向けて

町では、国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センターが主催する「吹雪発生予測システムを核とした冬期地域防災対策の高度化」運営委員会に参加しています。委員会では、吹雪や視界の数時間後の状況を予測するシステムの検証のほか、検証に使用するライブカメラの設置(今後予定)など、暴風雪災害への強化に取り組んでいます。今後、視界不良や吹きだまりの発生しやすい状況を予測する技術が確立することによって、冬の生活に大いに役立つことが期待されます。

※今回の天気図に関する解説は、釧路地方気象台予報官に確認いただき、作成をしています。



北方領土問題を考えよう！

●北方領土は日本固有の領土です！

私たちの住んでいる羅臼町から目の前に望む国後島。この国後島を含む択捉島、色丹島及び歯舞群島の北方領土は、私たち日本国民が父祖伝来の地として受け継いできたもので、いまだかつて一度も外国の領土となったことのない日本固有の領土です。

1855年の日魯通好条約により、当時、択捉島とウルップ島との間に自然に形成されていた国境線が法的に画定され、北方四島は日本の領土として平和裡に確定されました。

しかし、第2次世界大戦末期の1945年8月9日、ソ連軍は、当時まだ有効であった日ソ中立条約を無視して対日参戦し、日本は8月14日にポツダム宣言を受諾し降伏の意図を明確に表明した後、8月28日から9月5日までの間に四島の全てを不法に占領されました。

当時、1万7291人の日本人が暮らしていましたが、1949年までに日本人島民がソ連により強制的に退去させられて以来（羅臼町にもたくさんの方が引揚げてきました）、今もなおロシアによる実支配が続いており、今年で72年もの長い歳月が経っています。

この北方領土問題の早期解決は、私たち町民はもとより日本国民の長年の悲願です。



羅臼国後展望塔から望む国後島。
羅臼町から僅か25kmしか離れていません。

●日ロ関係の新たな一歩となるか？

北方領土問題の解決に向け、昨年の5月にロシアのソチで行われた日ロ首脳会談において、北方領土問題について「双方に受入れ可能な解決策の作成に向け、今までの発想にとらわれない『新しいアプローチ』で交渉を精力的に進めていく」との認識が共有され、そ

の後の交渉に期待していましたが、同年12月15・16日の2日間に渡り、ロシアのプーチン大統領を安倍首相の地元である山口県などに招いて開催された日ロ首脳会談においては、残念ながら北方領土問題の具体的な進展は示されませんでした。

その一方で、「北方四島での経済交流」「北方墓参の拡大」など、両首相間で合意されたことから、今後の北方領土問題の進展に期待したいものです。

●羅臼町での北方領土返還運動の取組み！

町では北方領土問題に対する国民世論の結集と高揚を図るため、関係団体と連携し、町内のイベントや観光地などでの署名活動や北方四島在住のロシア人とのビザなし交流、青少年を対象とした北方領土関連事業へ積極的に参加するなど年間を通して様々な啓発活動を実施しています。

また、1万7291人いた元島民も現在1万人以上の方々が他界し、残された元島民の平均年齢は81歳を超えている現状を踏まえ、今後返還要求運動を引継ぐ若年層世代の育成に力を入れており、特に修学旅行や各種視察団などで来町した若年層世代に対し、洋上視察や元島民による語り部などの北方領土学習を積極的に提供し、若年層世代に対する北方領土問題の意識の高揚を図る取組を展開して

います。

訪問した青少年たちからは「北方領土問題が身近に感じられた」「北方領土のあまりの近さに驚いた」「自国の領土なのに自由に行けないもどかしさを感じた」などの意見が多数あり、北方領土問題を身近な問題として捉える機会として大変意義のある体験となつています。

●これから私たちにできること！

北方領土問題の解決は国家主権に関わる問題であり、解決の方法については、日本政府で行う外交交渉でしかありません。

この外交交渉を後押しする国民世論の高揚がこれから益々必要となっており、この国民世論が高まれば外交交渉がより推進されます。



洋上視察（中間ライン地点から間近に国後島を視察する修学旅行生）



修学旅行生に対して「元島民北方領土の語り部」講話

また、羅臼町を含む根室管内隣接地域では領土問題が未解決であることから200海里問題、ロシアトロール船による資源枯渇・漁具被害の問題などが発生しており、地域経済の発展が阻害され続け、地域経済の低迷に拍車を掛けている状況にあります。

北方領土問題については、元島民の方々の切実な問題であるとともに羅臼町の地域経済の発展に直決している問題でもあります。

これからは私たちが、今一度領土問題に真剣に考え、領土問題に向き合うことが必要であり、北方領土返還運動の原点の地域から全国に声を発すること。そのことで国民総意の運動として展開されますので、北方領土問題の返還運動について町民皆様のご協力をよろしくお願いします。

町では町内のイベントなどで北方領土返還の署名ブースを設置しています。皆さんが一番気軽に参加できるのが署名活動です。是非署名ブースを見かけましたら署名にご協力ください。



知床横断道路での署名活動

※昭和40年から始まった署名活動は、全国各地で実施されており、平成28年3月末現在で「8765万1265名」の方々に協力していただいています。この署名は、毎年政府及び国会に国民の切実な思いとして提出しています。

●2月7日は「北方領土の日」です！

この日は、今から約160年前の1855年に締結された、「日魯通好条約」において、初めて北方領土が国際的に日本の領土と認められた日です。

この2月7日の前後1ヶ月は特別啓発期間と定め、北海道と各市町村及び関係団体が連携を図り、全道的に各種北方領土返還啓発活動を実施します。

羅臼町でも次の事業を実施しますので町民の皆さんのご参加及び署名などにご協力ください。

●ソ連占領下の北方領土

「日ソ混住時代の記憶」巡回展

2月3日～23日（公民館）

●「北方領土の日」記念事業

2月7日（羅臼国後展望塔）

●「オジロまつり」での署名啓発活動

2月12日（羅小グラウンド）

冬の乾燥肌の対策

寒さが一段と増してきた今日この頃となりました。冬は、肌トラブル（肌のかさつき、かゆみ、赤み、ひびわれ、湿疹など）が起こりやすくなります。

肌のバリア機能について

肌の表面には角質層という細胞の層があり、その外側を皮脂が覆っています。角質層が水分を保ち、皮脂が膜を作って肌の潤いを保ってくれています。しかし、肌のバリア機能は、乾燥した空気や、かゆみで肌を掻くことで破壊されます。

乾燥肌対策・普段からできること

- ① 皮脂腺が少ない部位が乾燥しやすいです。例えばすねやかかと、手目元、頬などがあります。清潔にした後は顔にローションと乳液をつけ、手足はクリームを塗るなど保湿をします。
- ② 湿度を適切に保つ(50%以上)。
- ③ 入浴時ゴシゴシ皮膚をこすらない。
- ④ 入浴できない場合は、身体を温かいおしぼりで拭くなどして肌の清潔を保つ。

肌トラブルの対応

かゆみや湿疹などが治らず、皮膚が炎症を起こしているような場合は医師に相談し、薬を使うことも効果的です。

肌トラブルが重症化する前に適切なケアをして肌を守りましょう!!



子育て情報ひろば ~すくすく~

言葉を使わずにわかる方

ミラリング…子どもの行動をそのまま真似る。

積み木で遊んでいた子どもが急にバンザイの格好をしました。何も意味が分からないけれど大人もとりあえずバンザイのポーズを真似てみます。大人が「何よ、それ」と言ったらがっかりするけれど、真似してもらうと嬉しいのです。この人は反応があってもしろいから、また、やってみようと思います。お話ししてみようとする気持ちの始まりです。

モニタリング…子どもの出す声や音をそのまま真似る。

ボールを転がします。「ああっ！」と子どもはびっくりしたように言います。「ウゴイター！コロガッター！」という意味でしょうか。そのとき大人も「ああっ！」と同じ口調で言ってみます。子どもにとってはなんでも、一つ一つが新しい発見。喜びに満ちた発見に付き合ってくださいませう。



★2月・3月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場 (0歳~3歳対象) ☆すくすく広場 (1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場 (2歳~3歳対象)

2月 3日	すくすく広場	2月 6日	ママの日♪	2月 8日	春松幼稚園訪問
2月 9日	健康ヨーガ教室	2月15日	羅臼幼稚園訪問	2月16日	★おはなし会
2月23日	健康ヨーガ教室	2月24日	のびのび広場	3月 2日	健康ヨーガ教室
3月 3日	すくすく広場	3月 6日	ママの日♪	3月 8日	お別れ会
3月13日	計測	3月16日	健康ヨーガ教室	3月17日	のびのび広場

* 健康ヨーガ教室・お別れ会については事前に申し込みが必要です。★印は公民館でおこないます。
* 今年度の開放は3/24(金)までです。平成29年度は4/3(月)から開放開始です。
* お問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』Tel.88-1515

あなたの腎臓は大丈夫？腎臓からの危険信号！

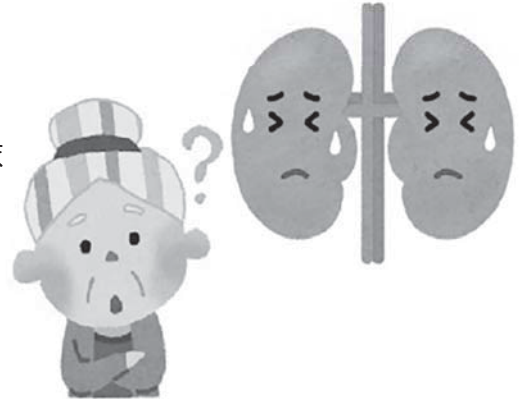
～みんなで育む・みんなの診療所～

腎臓って何してるの？

- 腎臓は血液中の余分な水分と老廃物を選び分けるろ過装置！
- 1日に170リットルもの血液をろ過して、体内に毒素が溜まらないようにしてくれています。

腎臓が悪くなると？

- 腎臓が悪くなると毒素や余分な水分を排出出来なくなり、様々な障害が出てきます。
- そのまま放置すると腎不全になり、人工透析等が必要となります。



こんな症状に要注意！

- **たんぱく尿** ～ たんぱくは腎臓の働きによって血中へ戻されるため、尿の中に含まれることはありません。尿の中にたんぱくが認められた場合には、腎機能に異常が生じている可能性があります。
- **血尿** ～ 赤血球も腎臓の働きにより尿の中に含まれることはありません。血尿が見られた場合には、腎臓の働きに異常が生じている可能性があります。
- **高血圧** ～ 腎臓は体内の塩分調整も行っています。この機能が弱くなると体内の塩分濃度が高くなり、高血圧になることがあります。
- **むくみ(浮腫)** ～ 体内の水分量は、腎臓によってコントロールされています。むくみが生じるということは水分量の調整がうまくいっていないということ。腎機能の異常が疑われます。
- **尿量の変化** ～ 腎臓の尿濃縮機能が弱まると、尿量が多くなります。反対に、病状が進行することで尿を作る機能自体が弱まり、尿量は減少します。腎機能が停止してしまった場合には、尿量はゼロとなります。
- **尿毒症** ～ 腎機能の低下により尿排出がされなくなると、本来排出されるべき老廃物や毒素が血液中に貯留してしまいます。これによって倦怠感や食欲低下、睡眠障害、呼吸困難などの症状が現れます。

悪化させないためには初期の治療が重要！

腎臓病の初期段階には、自覚症状がほとんどありません。そのまま病気は着々と進行していき、10年以上も無症状といったケースも珍しくはありません。しかし、失ってしまった腎機能が正常な状態まで回復することはなく、症状が出現し、発見されたときにはすぐに人工透析を行わなければいけないこともあります。

そうならないために、できるだけ初期の段階で腎機能の低下に気づき、薬物療法や食事療法を続け、腎機能を維持する努力をしなければならないのです。初期の腎臓病を見逃さないために、症状がないからといって油断せず、定期的に尿検査などを受け、常に自身の腎臓の具合を把握しておくようにしましょう。

～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 Tel87-2116



NEW
ココ

かもめ号

新しいかもめ号巡回は2月から かもめのたまごっち号は 1月をもって終了します。

電気自動車で巡回していた「かもめのたまごっち号」は1月をもって終了します。新しいかもめ号は2月から巡回します。

デザインは（左ページ）親しまれたベースカラーの黄色は変わりません。運転席側と助手席側の両面が異なる絵柄となっており、バス全面に知床の動物や海と山の自然をダイナミックに描いています。

絵の中に吸い込まれていきそうなファンタジックな絵は、思わず立ち止まり見入ってしまうそうです。

描いてくださったのは、9月末まで羅臼町に在住されていたイラストレーターの後藤真希子さんです。（左ページ）

「この素晴らしい図書館バスは、永く愛される大切な財産として今後の羅臼町の文化や読書活動を彩ってくれるものです。」

「本を介して人がつながるまちづくり」を推進する最前線の活動として、かもめ号を大いに活用し大切に使いましょう。

三代目かもめのブックン



寄贈の本がたくさん届きました！ 新しいかもめ号に積んで行くよ

古本市実行委員会より 大型絵本4冊

大きくてみやすい絵本です。集団に読み聞かせをするPTA活動などにご活用ください。

児童書 85冊

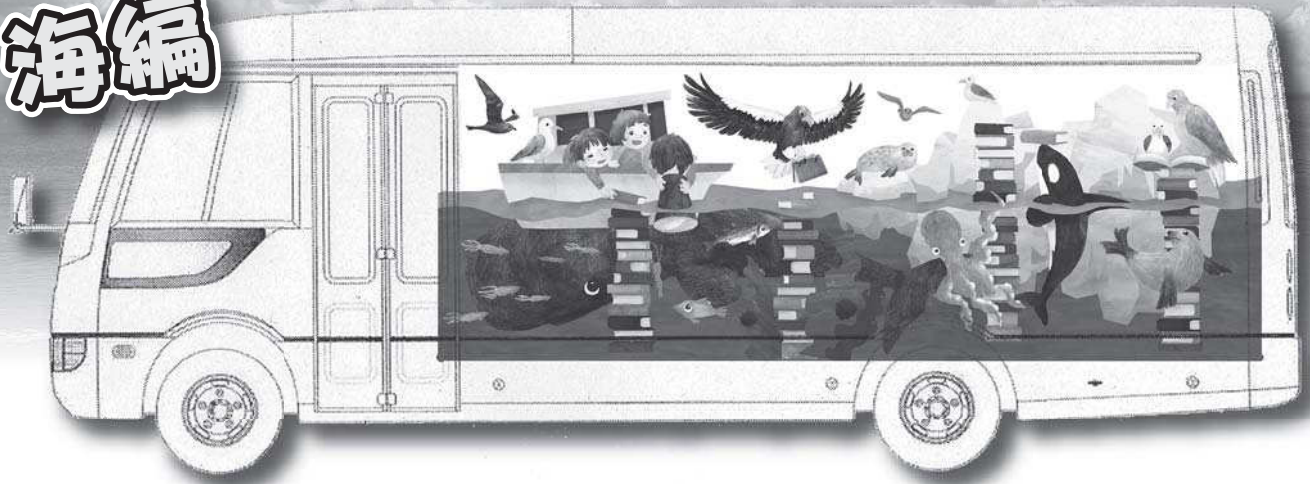
匿名のタイガーマスクさんから新刊児童書の寄贈をいただきました。



タイガーマスクさん
ありがとうございます

★かもめ号NEWデザイン紹介★

海編



山編



本が人と自然、人と人のつながりを作っていくようなイメージをより意識して構成しました。

町中を走っているのを想像して、町の人がどんな風に見てくれるのかドキドキしながら描いていました。

少しでもワクワクしてくれて、ちょっとしたでも本を読むきっかけになってくれるといいなと思います。

私も実物を見られるのを楽しみにしています。



現在埼玉県在住
元知床ろうすリンクル職員
後藤真希子さん

メッセージ
羅臼町の皆さんへ
イラストレーター
後藤真希子さんより



城下町のわだい

みんなごまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたくと考えています。
みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

平成28年11月3日(休)

秋の叙勲 旭日双光章 脇 紀美夫氏受章

昭和32年目梨郡羅臼村に奉職し、38年余にわたる豊富な行政経験と卓越した力量をかわれて、平成7年に羅臼町助役に就任。その後、平成15年に羅臼町長に初当選し、3期12年もの永きにわたり、行財政改革、地域医療体制の構築、診療所施設の建設など常に全体の奉仕者として大きく貢献された功績により旭日双光章を受章されました。おめでとうございます。



平成28年11月3日(休)

秋の叙勲 瑞宝単光章 濱屋 義昭氏受章

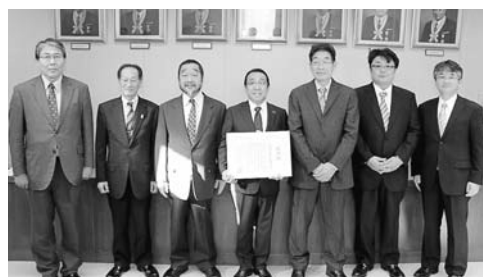
昭和45年羅臼町消防団員を命以来、36年余にわたり、献身的な活躍で消防団活動に尽力されました。幾多の過酷な災害現場等に率先して出動し、災害被害の軽減と冷静的確な判断力による鎮圧消火や火災予防の啓蒙と防火思想の普及に努め、火災発生件数の減少に貢献された功績により瑞宝単光章を受章されました。おめでとうございます。



平成28年11月14日(月)

感謝の意を込めて

相次ぐ台風上陸により羅臼町で発生した土砂災害で、孤立地区との緊急海上輸送に尽力された「知床羅臼観光協議会」に対し、北海道運輸局長から感謝状が贈られました。
緊急海上輸送を実施してくれました、(株)まるみ、(有)丸は宝来水産、尾田建設(株)、(有)知床ネイチャークルーズの皆様、ありがとうございました。



平成28年11月21日(月)

継続は力なり

無料露天風呂「熊の湯」の維持管理を行っている熊の湯愛好会が、毎朝の清掃等の環境美化活動が認められ、北海道知事から感謝状が贈られました。
地元住民のみならず、羅臼町を訪れる多くの観光客から愛される「熊の湯」の存在は、熊の湯愛好会の欠かすことのない清掃活動や維持管理の隠された努力のおかげで成り立っております。熊の湯愛好会の皆様ありがとうございました。



平成28年11月27日(日)

音楽の力で たすけあい

羅臼町公民館大ホールを会場にトシ&エリ歳末助け合いチャリティーライブが開催されました。

今年2回目となるラ

イブでは、「野に咲く花のように」を含む計17曲が披露され、会場に集まった方々は二人の息ぴったりの演奏に聴き惚れている様子でした。

会場内には、募金箱が設置され

集められた寄付金は羅臼町社会福祉協議会へ寄付されました。



平成28年12月13日(火)

ハガキから感じる想い

今年で4回目を数える羅臼漁業協同組合・(株)バスクリン共同企画「世界自然遺産知床羅臼から高級らうす昆布プレゼント」抽選会が開催されました。

全国各地から3612通の応募

があり、寄せられたハガキには、昆布漁師の姿が鮮やかに描かれたものから、羅臼昆布に対する熱いコメントが記載されたものまで、どれもこれも見応えのあるものでした。

例年に比べ、応募総数が減少したことを受けて、(株)バスクリン古賀社長は「ハガキを直接手に取ること、この抽選会の意義を知ることが出来る。

今後も更なる羅臼昆布の宣伝活動を続けて、消費拡大につなげていきたい。」と話されました。

今以上に羅臼昆布の最上級の味が世の中に知れ渡ることを期待したいところです。



平成28年12月13日(火)

平成28年度 羅臼町国民健康保険優良家庭表彰

町では、羅臼町国民健康保険優良家庭表彰を行っています。

これは、世帯を基本として平成27年度に国保税を納期内に完納し、その年度に医療機関を利用しなかった無受診世帯で、かつ特定健診を受けられている世帯に対して表彰する制度です。

平成28年度は1世帯が表彰対象となり12月13日に保健福祉課長がご自宅を訪問させて頂き表彰状の伝達を致しました。

みなさんも健診を受診し、自己の健康管理を行うと共に、税の納期内完納にご理解とご協力をお願い致します。

優良家庭表彰世帯(年数)

田中敏幸様(1年)



平成28年12月16日(金)

北海道社会貢献賞 〜羅臼町議会議員 鹿又 政義氏受賞〜

平成7年に地域住民の推挙により羅臼町議会議員に当選、以来6期21年2ヶ月の永きにわたり羅臼町の振興発展に寄与されました。常に地域社会のため献身的な活動を続け、将来の町づくりに向け、町の行政改革を牽引した功績により北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞されました。おめでとうございます。



政義氏受賞

平成28年12月23日(金)

聖なる夜の贈り物

イルミネーション実行委員会主催の元、小学生までの子どもたちを対象にサンタさんからのプレゼント配布、お楽しみ抽選会が行われました。

会場に集まった子どもたちは、少し早いクリスマスプレゼントや抽選会景品のクリスマスケーキに大変喜んでいました。



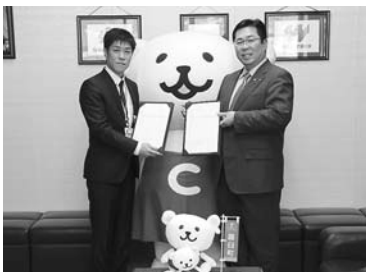
平成28年12月28日(水)

災害に備えた 応援体制

災害時における緊急生活物資の供給等に関する協定を生活協同組合コープさっぽろと締結し調印式が行われました。

災害時応援体制の拡充として、大規模災害が発生した場合や発生するおそれがあるときに、町の要請に基づき、コープさっぽろが食料や生活必需品の緊急生活物資を届け、住民生活の早期安定を図ろうとするものです。

町では、12月8日に、(株)ホームマックニコット、DCMホームマック(株)とも同協定を締結しており、根室管内市町では初の試みであります。今後においても町内外の事業所等との災害協定を推進して参ります。



平成29年1月7日(土)

大人の仲間入り

公民館大ホールにて新成人44名（町内成人対象者54名）が出席し、平成29年羅臼町成人式が行われました。

式典では、成人の誓い、交通安全宣言をそれぞれ代表者が宣誓され、式典後はOffice REY代表取締役会長 今村克彦氏より「夢の見つけ方」についてご講演を頂きました。新成人の皆様おめでとうございます。



TAXコラム

(税務財政課通信)



「町税の納税は、お済ですか？」

12月26日で町税の最終納期が過ぎました。
 まだ、納税していない方は、遅れた日数に応じて延滞金が加算される場合がありますので、早急に納税するようお願いいたします。
 また、国保税の第8期分は1月31日、第9期分は2月28日が納期限となっておりますので、期限内に納税するよう併せてお願いいたします。

なお、町では、「公平・公明・公正」の観点から納税にも応じず、また納税誓約も履行しない滞納者に対しては、差押えなどの法的措置を執行し、収入確保に努めておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「償却資産申告書の提出は忘れずに！」

償却資産をお持ちの方や法人に通知いたしました償却資産申告書（黄色の用紙）の提出期限は、平成29年1月31日（火）となっております。まだ提出されていない方は、必要事項を記載のうえ、期限までに提出していただきますようお願いいたします。

なお、平成27年度より「個人番号又は法人番号（マイナンバー）」の記載欄が新設されていますので、忘れずに記載していただきますようお願いいたします。

詳しくは、償却資産申告書に同封されております「償却資産申告書の書き方」をご覧ください。下記お問合せ先へご連絡ください。

【1・2月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 1月29日(日)、2月26日(日) 午前9時～午後5時まで
 〈夜間窓口〉 1月31日(火)、2月28日(火) 午後8時まで

〈お問合せ先〉 羅臼町役場税務財政課 TEL87-2113



【ジェットヒーター】
 羅臼町建設業協会
 会長 小野 哲也 様



【絵本・シマフクロウ
 ちびのぼうけん】
 メナシ倶楽部
 会長 宮腰 實 様



【雑巾】
 グループサンシャイン
 代表 三好 正美 様

寄付寄贈
 ありがとうございます

知床・羅臼まちづくり基金

【地域資源を活かした活力ある

産業のまちに関する事業】

東京らうす会 様

【その他、目的達成のために

町長が必要と認める事業】

(株)フレア 様

【豊かな心身を育み、明日へと

はばたくまちに関する事業】

脇 紀美夫 様

グループ創る 様

濱屋 義昭 様

(平成28年10月29日～
 平成29年1月10日受付分掲載)

おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

12月例会句
平成28年12月

大根に染みる羅臼の昆布の味 悠 羅

百本の大根見越し羅臼岳 英 美

早すぎる雪に爺様の嘆き節 鹿 山

姍々と鹿啼きあふや眠る山 泥 舟

大雪に泰然として石灯笼 羅 牛

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086-11823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社

宮腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成28年12月末現在 ()内は平成28年11月末対比

人口 5,320人 (- 6) 男 2,628人 (- 6)
世帯 2,115世帯 (- 1) 女 2,692人 (± 0)

編集後記

新年一発目の広報誌の発行となる今月号ですが、今年初取材は成人式でした。新成人44名の晴れ姿はとても素敵で、堂々とした成人の誓いに心打たれた取材となりました。

さて、皆様はどのようなお正月を過ごされたでしょうか。私は、毎年の恒例行事となっている除夜の鐘を鳴らしに行きました。今回もいい音が響き、新しい気持ちで新年を迎えることが出来ました。

皆様にとって今年も素晴らしい一年でありますように。そして今年も宜しくお願い致します。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす平成29年1月号

編集/羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
http://www.rausu-town.jp/